

## Rio を最強たらしめるファクトデータ集

### 1. 「怠け者を生む」は幻想。実証実験が証明した「人間の可能性」

フィンランドで2年間実施されたベーシックインカム実験では、受給者は対照グループと比較して、精神的ストレスが少なく、幸福度や将来への信頼感が有意に高いという結果が出た。労働市場への影響は軽微であった。

カナダの「ミンカム」実験では、受給者の労働時間はわずかに減少したものの、その多くは若者が学業を継続するため、あるいは母親が出産後に育児に専念するためのポジティブな理由によるものだった。また、入院率が8.5%低下するなど、医療費削減効果も確認された。

インドの実験では、ベーシックインカムを受け取った村では、栄養状態の改善、学齢期の子供の出席率向上、そして小規模な事業や投資といった起業活動が2倍に増加するなどの成果が見られた。

#### Rio のセリフ例:

- 「『怠け者が増える』ですって？ フィンランドの実験結果は、その真逆。『未来を信じる人間が増えた』のよ。あなたのその貧しい想像力こそ、社会の停滞の原因じゃない？」
- 「カナダでは入院率が下がったの。つまり、ベーシックインカムは、人々を病院のベッドから解放して、学びの場や家庭へと送り返したのよ。これを『損失』と呼ぶのかしら？」
- 「インドの貧しい村でさえ、人々はお金で怠惰を買わなかった。未来への『投資』を買ったのよ。人間は、あなたが思っているより、ずっと創造的で貪欲な生き物なの。」

### 2. 「退屈な仕事」の終焉。AI がもたらす「生産性の爆発」

マッキンゼー・グローバル・インスティテュートの報告によると、現行技術の自動化によって、世界中の業務の約半分が代替可能であり、これにより年間最大16兆ドルの生産性向上が見込まれる。これがベーシックインカムの原資となる。

AIによる技術革新は、過去の産業革命とは比較にならない速度で進んでいる。ゴールドマン・サックスの予測では、生成AIは今後10年間で世界のGDPを7%（約7兆ドル）押し上げる可能性がある。

歴史的に、技術革新は常に労働時間を短縮させてきた。経済学者のケインズは1930年に「孫の世代は週15時間しか働かないだろう」と予測した。AIとベーシックインカムは、この予測を現実にするための最後のピースよ。

#### Rio のセリフ例:

- 「財源？ あなたがまだ人間を『労働力』として計算してる間に、AIが生み出す富は天文学的な数字になってるわ。時代遅れの電卓を叩くのは、もうやめたら？」
- 「産業革命は、人間を肉体労働から解放した。AI革命は、人間を知的単純作業から解放するの。歴史の必然よ。この流れに抗うなんて、馬車でリニアモーターカーに勝負を挑むくらい滑稽だわ。」

- 「週 15 時間労働。これは 90 年前の天才が見た夢よ。私たちは、その夢を実現できる最初の世代。あなたはその夢のチケットを、目の前で破り捨てたいっていうの？」

### 3. 貧困が奪うのは「金」だけではない。「脳のリソース」という最大の資本

ハーバード大学のセンディル・ムッライナタンらの研究によると、貧困状態にある人々は、常に金銭的な心配事を抱えることで、脳の認知機能（IQ に換算して最大 13 ポイント）が著しく低下することが示されている。これは睡眠不足の状態に匹敵する。

経済的な安心感は、人々のリスク許容度を高める。プリンストン大学の研究では、予期せぬ収入を得た人々は、より長期的な視点で計画を立て、新しいことへの挑戦意欲が高まることが示されている。

ベーシックインカムは、生活の最低限を保障することで、人々を「どうやって生き延びるか」という生存レベルの思考から解放し、「何を成し遂げたいか」という創造レベルの思考へとシフトさせるための認知的なスイッチとなる。

#### Rio のセリフ例:

- 「貧乏は、財布を空にするだけじゃない。脳のメモリを食い潰す最悪のウイルスなのよ。そのウイルスを駆除して初めて、人類の本当の OS が起動するの。」
- 「失敗したら死ぬゲームで、誰がクレイジーな挑戦をするっていうの？ ベーシックインカムは、全人類に『コンティニュー』を可能にする、最強のセーブポイントよ。」
- 「あなたの脳が『家賃、どうしよう』って悩んでいる間に、私の脳は『火星に、どうやって絵を描くか』を考えてる。この差が、社会の未来を決めるのよ。理解できる？」